博物館調査研究レポート

ICOM 2016 年ミラノ大会に参加して

京都外国語大学・国際文化資料館館長　南 博史

はじめに

2016 年の ICOM 世界大会は、イタリアのミラノで 7 月 3 日～9 日まで開催された。メイン会場は、イタリア・ミラノ市北西地区にある MiCo（Milano Congressi：ミラノ会議場）で、以下の日程で会議が進んだ。

7 月 3 日（日）各国際委員会による会合
　　国内委員会委員長会議、国際委員長委員長会議など
7 月 4 日（月）開会式、基調講演、各国際委員会による会合
　　オープニングパーティ（於：スフォルツェスコ城）
7 月 5 日（火）基調講演、各国際委員会による会合
　　特別公開ナイト（於：国立科学技術博物館）
7 月 6 日（水）基調講演、パネルディスカッション、各国際委員会による会合
　　特別公開ナイト（於：ミラノ大聖堂－ドゥオーモ）
7 月 7 日（木）各オフサイトミーティング
　　特別公開ナイト（於：ブレラ美術館）
7 月 8 日（金）エクスカーション
7 月 9 日（土）総会、臨時総会、諮問委員会
　　閉会式（於：トリエンナーレ美術館）、お別れパーティ

また、期間中は博物館見本市が開催された。特別企画として、レオナルド・ダ・ヴィンチ作「最後の晩餐」鑑賞ツアーも行われた。

なお、参加者は、おおよそ 129 の国と地域から約 3500 人にのぼった。

(c) Kyoto University of Foreign Studies, Kyoto Junior College of Foreign Languages All rights reserved. http://www.kufs.ac.jp/

参加活動

　このうち南は、7 月 4 日開会式、5 日、6 日の UMAC ミーティングとソーシャルイベントのミラノ聖堂にて音楽会（5 日）、レオナルド・ダ・ヴィンチ国立科学博物館見学（6 日）に参加した。また 7 日はオフサイトミーティングとしてトレノ大学博物館にて UMAC ミーティングに参加。その後、トレノ国立自動車博物館、トレノ聖堂を見学した。

　そして、7 月 8 日のエクスカーションは、ミラノ市内を中心に、最後の晩餐、CASTELLO SFORESCO 内の博物館など見学。9 日の総会では UMAC 委員会にて、新体制投票を行った。

まとめ

　3 年に一度の世界大会への参加は、2013 年のブラジル・リオデジャネイロに続く 2 度目の参加であった。

目的は、国際文化資料館が所属する UMAC の会議への参加。2016 年 ICOM 京都世界大会に向けての会場および運営視察。そして、2016 年 8 月末～9 月初めに開催の世界考古学会議第 8 回京都大会にむけてボランティア活動の視察であった。

とくに今回は 2019 年の世界大会が京都で開催されることが決定していたこともあって、日本からも多くの開催関係者（ICOM 日本委員会など）や博物館学芸員が参加していた。さらに博物館運営に関わる地方自治体の職員や博物館関連の企業からも参加があり、3 年後の京都大会に向けて関心が高まってきたという印象があった。

　ボランティアについては、国際文化資料館が WAC8 でのボランティアとりまとめをすることになっていたこともあって、各場所でのボランティアの配置や役割などを中心に実見した。結論としては、ボランティアが大変活躍していたと評価されたように、各ボランティアが各場所で自信（＋笑顔）をもって案内、運営に関わっている姿、見渡せば必ずボランティアが目に入るという人的体制が、私たち参加者に安心感をもたらしていると感じた。ちなみに約 300 人のボランティアが運営をサポートした。

　各部署、各ボランティアの余裕のある配置、明確な役割、情報共有と横方向の連携が上手くできるかどうかがポイントであろう。

　そして、閉会式では、大会旗が京都市副市長に手渡され、いよいよ本番という雰囲気

(c) Kyoto University of Foreign Studies, Kyoto Junior College of Foreign Languages All rights reserved. http://www.kufs.ac.jp/

が日本から参加したメンバーと共有できたと感じた。このモチベーションを途切れさせることなく本番に結び付けていけるかがこれからの課題である。



ICOM 総会



UMAC 総会



トリノ大学オフサイトミーティング



ミラノ大会会場



歓迎パーティー



国立トリノ自動車博物館

(c) Kyoto University of Foreign Studies, Kyoto Junior College of Foreign Languages All rights reserved. http://www.kufs.ac.jp/